

## 【全体概要図】



## 2 固定資産の種類

### (1) 有形固定資産

⇒ 有形固定資産とは、一年を超えて使用する資産のうち、現物があり、ある程度金額の大きいものをいう。代表的な有形固定資産には以下のようなものがある。

- 土地 … 土地本体。事務所や工場などの底地など。
- 建物 … 建物本体。事務所や工場などの建築物。
- 建物附属設備 … 建物に付随する電気設備や給排水設備など。
- 構築物 … 建物以外の造作物（主に移動出来ないもの）
- 機械及び装置 … 主に工場等で使われる生産設備等の機械など。
- 車両運搬具 … 一般的な自動車、トラックなど。
- 工具器具備品 … 棚、机、パソコン等で幅広い。金型等も含まれる。
- 建設仮勘定 … 建設中（未完成）の支出。最終的に上記勘定等に振り替えられる。

### (2) 無形固定資産

⇒ 長期間使用する資産の中にはシステムや権利関係のように無形の資産も存在する。これらは「無形固定資産」に分類され、例えば、「ソフトウェア」や「のれん」、「特許権」などがこれにあたる。

- ソフトウェア … 会計ソフト等のプログラム。購入した物だけでなく自ら開発したものも含む。
- のれん … ノウハウ、ブランド力等、定数化するのは難しいが収益源となるもの。
- 特許権等 … 特許権や実用新案権など。

## 3 減価償却について

⇒ 有形固定資産、無形固定資産は一部の場合を除き、毎年その一部を費用化し、帳簿上の価値を下げていく。

これが減価償却にあたり、例えば資産を購入後、使用を通じて価値が落ちていくことを会計上表しているとイメージがしやすい。ちなみに、償却を行う期間を耐用年数という。

### (1) 減価償却の方法

減価償却の計算方法で特に実務上特に重要なのが「定額法」と「定率法」がある。

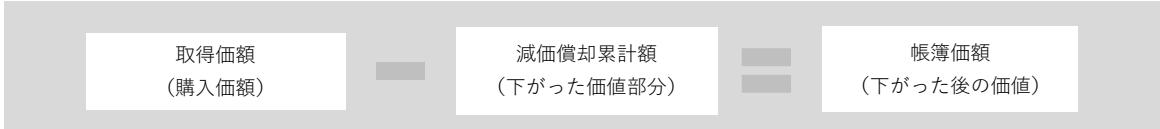
ほとんどの場合、この二種類のうちいずれかの方法で減価償却計算が行われている。

- |     |   |
|-----|---|
| 定額法 | … 毎年一定額を減価償却する（取得価額を耐用年数で除しているイメージ）     |
| 定率法 | … 每年一定率を乗じた額を減価償却する（帳簿価額に一定率を乗じているイメージ） |

### (2) 減価償却の頻度

減価償却は税務申告だけを考えるなら、年に一度行けば足りるが、月次決算や四半期決算を行う場合にはその都度行う必要がある。企業によっては、月次では予算値（予定額）を計上しておき、一定期間で実績値に置き換えるという処理も行われている。損益管理体制や会計上のポジションを踏まえ、減価償却の頻度を検討する必要がある。

### 【概要図】



減価償却を行わない資産の代表的なものは、「土地（使用による価値下落がない）」や、「建設仮勘定（未完成の資産）」がある。